

大学の教育研究上の目的（※各学部等規程より抜粋）

学部

教育学部

本学部は、新しい時代の学校教育を担う教員、中でも小学校・中学校・特別支援学校の教員を養成することを主な目的とし、豊かな教養と優れた人格、幅広い実践的な能力を十分に備えた人材を育成する。

共同教育学部

本学部は、宇都宮大学との共同教育課程を通じ、双方の強みを相互に活用して、新しい時代の要請に応える質の高い教員養成カリキュラムを開発・編成し、優れた人格と豊かな教養、高い実践力を持った地域の初等・中等及び特別支援教育の教員を養成することを目的とする。

社会情報学部

本学部は、情報科学と人文・社会科学との融合のもとで、情報と人間の共存の在り方を追究し、高度情報化社会の要請に応える人材の育成、新しい学問分野の創造、地域社会及び国際社会に貢献することを目的とする。

情報学部

本学部は、高度情報化社会において、情報と結びつく多様な分野を融合した学問体系としての情報学の創造に基づいて、情報技術の創出と利活用を可能とする知識基盤を備え、持続可能でインクルーシブな社会の発展と課題解決に寄与できる人材を養成し、地域社会や国際社会に貢献することを目的とする。

医学部

医学科は、医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知(Science)、倫理(Ethics)、技能(Skill)の3つの面(SES)にわたって生涯自己研鑽を続けることができる者であって、次の各号に掲げる人材の育成を目的とする。

- (1) 医師にふさわしい倫理観と責任感を有し、医療チームの中で医師として適切な行動をとることができ、他者と信頼関係を築ける者
- (2) 医師、医学研究者、医学教育者又は医療行政担当者となるために必要な知識を身に付けるとともに、新たな課題にも対応できる問題解決能力を修得した者
- (3) 医学知識に裏打ちされた臨床と研究の能力を修得し、患者により良い医療を提供する能力と、医学や医療の発展に貢献する意欲を備えた者

保健学科は、人間として、保健医療の専門職として、確固とした倫理観と豊かな人間性を持ち、保健医療の各分野に求められる社会的使命を果たすことができる者であ

って、次の各号に掲げる人材の育成を目的とする。

- (1) 保健医療の中核を担うために必要な専門的知識と技術を備え、人間の尊厳を重んじる心を持つ者
- (2) 保健医療の諸課題に対し柔軟な思考、的確な判断によって問題解決ができる者
- (3) チーム医療を担う自覚を有し、関係する人々との相互理解と円滑な協働関係が築ける者
- (4) 社会の多様性・グローバル化に対応できる自己開発力と意欲を持ち、人々の健康に貢献する者

理工学部

本学部は、人類が進むべき新たな指針を見いだし、人と自然との調和のとれた豊かな未来社会を創造するため、高い専門的能力と健全な理念を持ち、地域・社会、日本、そして世界に貢献できる人材を育成することを目的とする。

目的を達成するため、学生と教員との緊密なつながりを基本として、次の各号に掲げる教育を行うものとする。

- (1) 幅広い教養、豊かな人間性、社会的倫理観を獲得する教育
- (2) 論理的思考力、国際コミュニケーション能力、および社会の中で活躍できる実践的能力を獲得する教育
- (3) 理工学の基礎を総合的に俯瞰した知識を習得し、それを活用する能力を獲得する教育
- (4) 理工学における自身の専門分野の知識を習得し、それを活用する能力を獲得する教育
- (5) 理工学の基礎知識と自身の専門知識を用いて、未知の探求、新たな創生、諸課題の解決を行い得る能力を獲得する教育

大学院

教育学研究科

研究科は学部教育を基盤とし、教育・研究の成果を社会へ還元することを目的とし、次の各号に掲げる人材を育成する。

- (1) 優れた教育倫理と豊かな学識を有し、教育諸科学に関する高度な専門的知識・技能及び実践力を備え、教育現場において指導的な役割を担える教員
- (2) 学校教育及び種々の教育的場面における現代的諸課題に対応できる研究開発能力及び実践力を備えた人

社会情報学研究科

研究科は、人文・社会科学と情報科学に関する学識を兼ね備え、現代社会の多面的な諸問題に対する洞察力をもってその解決に関与できる高度専門職業人及び実践的研究者としての基礎学力の涵養を目指し、社会人再教育と留学生受入れを含めて地域社会や国際社会に貢献することを目的とする。

情報学研究科

研究科は、AI、データサイエンスなどのスキル、知識をより先端的・実践的な場面で活用する能力を養うとともに、情報技術と関係する多様な専門分野について理解と洞察を深め、先端的な研究に携わる能力を養う。情報科学・データサイエンスの専門知識に基づいて研究開発の一翼を担える能力を涵養するとともに、情報技術と密接に関係する社会の諸相について理解を深め、急激に変化する社会に対応して専門知識に基づく問題解決を図り未来社会の創造を担う人材を育成する。また、人文科学・社会科学・情報科学の知識に基づいた社会的洞察力・状況分析能力・科学的思考能力を駆使して、各種組織の意思決定に寄与できる人材を育成することを目的とする。

医学系研究科

修士課程生命医科学専攻は、医学の基礎知識の上に、発展を続ける生命科学を医学との関連において教授することにより、次の各号に掲げる人材の育成を目的とする。

- (1) 自らが研究を立案し遂行することのできる生命医科学研究者及び学際的医学研究者
- (2) 医学と生命科学の関連領域における高度専門職業人

博士課程医科学専攻は、次の各号に掲げる事項を目的とする。

- (1) 医の科学(Science)、倫理(Ethics)、技能(Skill)の探求とそれらの統合による医学の研究と教育の推進並びに医学と医療をリードする人材の育成
- (2) 疾病の病因究明及び体系的治療戦略の開発を通じての社会への貢献
- (3) 優れた医学の研究者と教育者の育成を通じての社会への貢献
- (4) 高い倫理観と卓越した臨床能力を持つ医療人の育成を通じての社会への貢献

保健学研究科

博士前期課程は、次の各号に掲げる人材の育成を目的とする。

- (1) 全人的医療を理解し、高度な専門知識と技術を有する者
- (2) 専門分野での教育や研究を実践するための基礎的な能力を有する者
- (3) 地域の保健医療・福祉専門職として活動が実践できる者
- (4) 国際的な保健医療・福祉分野の活動が実践できる者

博士後期課程は、次の各号に掲げる人材の育成を目的とする。

- (1) 保健医療・福祉分野で、独創的あるいは学際的な研究が実践できる者
- (2) 保健医療・福祉分野で、高度な教育が実践できる者
- (3) 保健学の高度な専門知識と技術を有し、保健医療・福祉分野での指導者となる者
- (4) 国際的な保健医療・福祉分野で、指導や教育及び研究が実践できる者

理工学府

学府は、多様化・複層化が深化する産業活動における諸課題に対して俯瞰的なものの見方と、総合的実践力・独創力を発揮することにより、これらに適切に対処していくことのできる人材、さらに、社会の革新・成長を牽引するリーダーとして社会の各分野で活躍できる実践的かつ独創性を有する高度な研究開発人材を育成することを目的とする。

目的を達成するため、理学と工学の分野融合による教育研究活動を基盤に次の各号に掲げる教育を行うものとする。

- (1) 従来 of 学問分野の枠を超えて俯瞰的に問題を把握し、知識を総合化して課題を解決できる能力を養う高度な理工学教育
- (2) 各教員の特長を活かした先端的研究の実践を通じて、自ら新たな課題を発見し挑戦する創造性と実践力を養う教育
- (3) これからの研究者・技術者に求められる技術マネジメントなどに関する基礎的素養と高い倫理観を養う教育
- (4) 先端研究者・高度専門技術者としてグローバルに活躍するための国際コミュニケーション能力を養う教育

パブリックヘルス学環

学環は、公衆衛生の両輪である実践と研究のいずれの分野でも活躍できる卓越した能力を持ち、健康の格差を是正するための組織的な活動に寄与できる人材、及び生物統計学や疫学などの手法をはじめ、公衆衛生の専門家として必要となる知識・技能を修得させるとともに、多様な価値観や倫理観が行き交う現場で課題解決力を発揮するためのマネジメント力を有する高度専門家を育成することを目的とする。

医理工レギュラトリーサイエンス学環

学環は、本学における重粒子線医理工学の分野横断的連携を基盤として、生命医科学、医学・医療及び理工学における学際的学問領域の研究を主体的に担うことができ、リーダーシップを発揮できる教育者、研究者及び社会のニーズに対応できる高度職業人を育成すること、並びに臨床現場で活躍する医学物理士及び放射線医理工学の発展に寄与する研究者を育成することを目的とする。

附置研究所

生体調節研究所

研究所は、生体調節に関する医学及び薬学の学理の探求及び応用研究を行うことを目的とする。